令和５年度　看護進路相談会　実施報告

公益社団法人　宮崎県看護協会

１．　**目的**

保健・医療・福祉の分野でますます看護の要請が高まっており、優秀な人材の確保が重要となっている。そこで、中・高校生および保護者、進路担当の先生を対象に、看護学校に関する情報を提供し、適切な進路選択の一助となることを目的とする。

２．　**日時**：令和５年７月８日（土）

３．　**会場**：宮崎市民プラザ　（宮崎市）

４．　**内容**：看護の講演、県内の各看護学校別の説明・個別相談、５年一貫校資料提示

５．　**プログラム**

第１部	第２部	内　　容	
9:00～9:25	13:00～13:25	受付（オルブライトホール前）	
9:20～	13:20～	オリエンテーション	宮崎県看護協会
9:25～9:30	13:25～	開会・挨拶	宮崎県看護協会　会長（第１部） 宮崎県看護協会　常任理事（第２部）
9:30～9:45	13:30～13:45	**看護教育について**	宮崎県福祉保健部　医療政策課 看護担当　副主幹　藤村 涼子　氏
9:45～9:55	13:45～13:55	**看護学校自己紹介**	● 宮崎県立看護大学 ● 宮崎大学医学部看護学科 ● 国立病院機構都城医療センター附属看護学校 ● 藤元メディカルシステム付属医療専門学校 ● 日南看護専門学校 ● 宮崎医療福祉専門学校看護学科 ● 九州保健福祉大学総合医療専門学校看護学科 ● 小林看護医療専門学校 ● フィオーレＫＯＧＡ看護専門学校 ● 宮崎・延岡看護専門学校（医師会立）
10:10～11:25	14:10～15:25	**学校別説明** **（15 分×4 回）**	
11:30～12:00	15:30～16:00	**個別相談**	希望者のみ

６．　**参加状況**：参加生徒数 141 人【第１部：90 人、第２部：51 人】　　単位：人

	参加生徒の合計				一般	保護者	教諭	参加者合計
	１年生	２年生	３年生					
中学校（8 校）	1	1	16	18		26	0	44
高校（25 校）	20	29	74	123			1	124
合計				**141**	1	26	1	**169**

※R4 年度参加者合計：379 人（うち、生徒 345 人）

７．　参加者アンケート結果

１）対象：参加した中・高校生、一般の 142 人

２）回収状況：回収数 137（回収率 96.5%）

３）集計結果

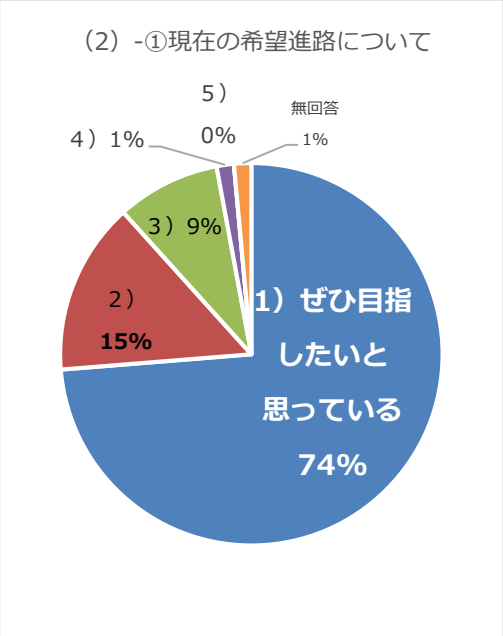
（１）回答者の内訳　　単位：人

中学生	高校生	その他
18	118	1

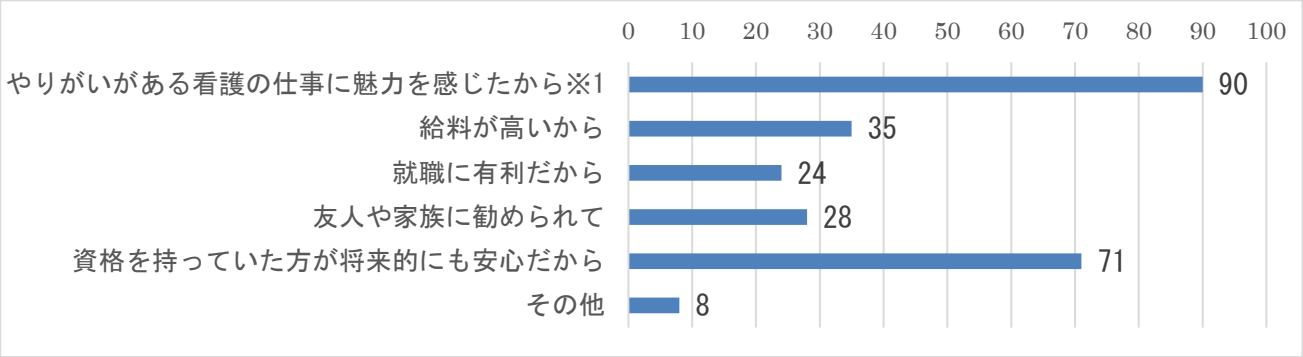
（２）進路希望

①現在の希望進路について（n＝137）単位：人

	回答数
1）ぜひ目指したいと思っている	101
2）看護職を目指したいが迷っている	20
3）決まっていないが看護職に関心がある	12
4）看護職以外の進路を目指している	2
5）まったく決まっていない	0
無回答	2



②看護職をめざす理由＊複数回答　（①で１）２）と回答した 121 人が対象）単位：人



※1：「やりがいがある看護の仕事に魅力を感じたから」の理由についての自由記載

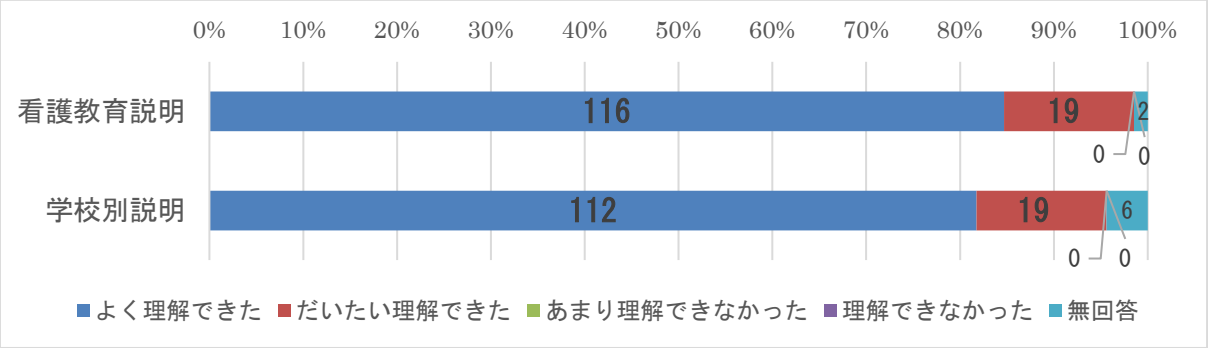
抜粋

- 人間性を学ぶことができ、人の為に働く事が出来るから。
- 人の命に関わり、身近に人を支えられる職業だから。また、自分の力で誰かを笑顔にできるから。
- 入院していた時に不安だったけど、看護師が支えてくれて、とても安心したから。
- 母親が看護師だから。
- 1 番近くで患者さんに寄り添え支えられる仕事だと思うから。
- 医療系のドラマを見て、人のためになる仕事がかっこよかったから。
- 助産師になって命の誕生にたずさわりたいと思ったから。
- 生と死と常に隣合わせでとても大変だと思いますが、その分達成度も大きいと感じるから。
- 赤ちゃんから高齢者まで幅広い世代への健康の手助けをできるから。
- ニュースなどを見て、コロナ禍で頑張る看護師を見たから。
- 看護教諭になって子供たちの成長を支えられるようになりたいから。
- 患者さんの人生を支えられる職業で社会貢献ができやすいと思うから。
- 私は人をお世話するのが好きだから。
- かっこいいから。
- 人を「心」からケアすることができるから。

（３） プログラムについての評価

プログラムの「看護教育説明」、「学校別説明」の 2 項目について 4 段階評価を行った。

n=137 （人）



（４） 看護進路説明会に対する感想※抜粋

良かった、参考になった

- ホームページやパンフレットだけでは伝わり切れない情報を得ることができ、個別相談も設けられていて、疑問点を解決することができてよかったです。
- 看護進路説明会では、実際にどのように看護職に就くのかを知ることができた。
- とても優しく、各校のことを教えて下さって、分かりやすかったです。今まで、専門学校の説明を聞いたことがなかったので、よい時間になりました。
- 3 つの学校の説明を聞いて、とても参考になりました。
- 各ブースなどを回ることができてとても楽しかった。各学校の事を知ることができ、各学校の工夫している部分、力を注いでいる部分が知れてよかった。
- 想像していたよりも看護学校が多くて、全ての学校の魅力を知れたので良かった。
- 複数の看護学校のお話しを聞いて、今からの自分に必要だと感じたものが多く、とても良い機会だった。

気持ちの変化

- それぞれの学校の特徴があり、とても、わかりやすく、どの学校もいいなあと思いました。興味だけだったけど、看護師になりたいと思いました。
- わかりやすい説明で、看護職につきたいという気持ちが強くなりました。
- いままで看護についてぼんやりとしか考えていなかったが、今回具体的な話が聞けて将来の展望がみえた気がする。色々な準備などありがとうございました。
- 看護師に関することをたくさん聞けて、少し看護職について興味がわいてきた。
- 今まで専門学校には、あまり興味がなかったけど、とても面白そうで、オープンキャンパスに行こうと思いました。
- 看護師になるための勉強が楽しみになった。
- 看護師や保健師になるためにいろんな学校や学科があって、もっと看護師になりたいと思った。

気づき

- 看護師免許を取った後の進路のことを良く知らなかったけど、いろんな進路があるとわかって、色々考えてみようと思った。

その他

- いっきにいくつもの学校の説明を聞ける機会はめったにないので、とても貴重でした。
- 知らない学校もあり、興味を持つ学校も多くあった。
- 資料や映像も含めて説明されていたので、とても分かりやすく、イメージしやすかった。
- 様々な看護のことが聞けてたくさん学ぶことができました。どのブースも楽しくて、時間が過ぎるのがあっという間でした。

・　様々な学校の紹介説明を受けて、各学校で良いところがたくさんあり、全部にいきたいと思ってしまった。

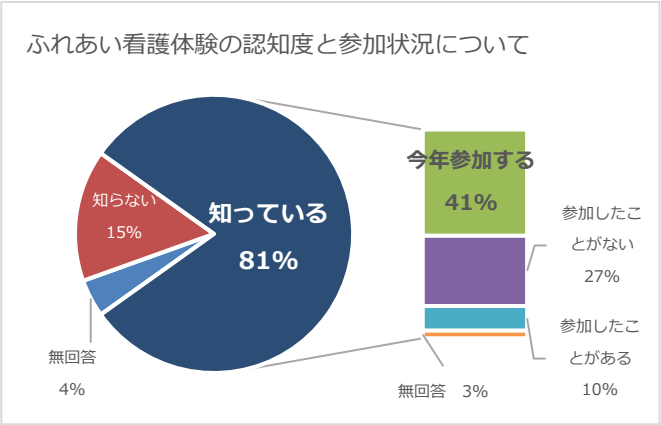
（５）ふれあい看護体験について

①ふれあい看護体験の認知度　n＝137

ふれあい看護体験を知っている	110
ふれあい看護体験を知らない	21
無回答	6

②ふれあい看護体験の参加について n＝110

参加したことがある	13
参加したことがない	37
今年参加する	56
無回答	4



８．　まとめ

看護進路相談会は平成 6 年にスタートし、県民や中・高生を対象に適切な看護進路選択の一助となることを目的に毎年開催している。会場は、昨年同様「宮崎市民プラザ」にて 2 部入替制で行った。

開催案内は、県内高校と市町村教育委員会を通して、県内の中学校に案内を行った。

結果、中学校 8 校、高校 25 校より 141 名の生徒が参加した。昨年と比較すると参加人数が大きく減少した（前年度比 41%減）。昨年度まではコロナ禍の影響で、ふれあい看護体験や職場体験等が制限され、そのような中で開催された「看護進路相談会」は、看護を目指したい生徒にとっては貴重な機会となり、参加希望者が多かったと推察する。今年度は、コロナが 5 類感染症に移行し、体験型、参加型のイベントや進路ガイダンスなど、知る機会・触れる機会が増えている。分散していることも考えられるが、県民や多くの生徒に興味を持って参加してもらうためには、広報についての検討や“行ってみたい”と思うようなプログラムの検討などの必要性を感じた。

参加者の 90%は「看護を目指す」生徒の参加であった。看護を目指す理由として“看護の仕事に魅力を感じた”という生徒が多かった。

開催内容は、看護教育に関する説明と学校別の説明会とした。学校別の説明会は、ブース訪問促進のためシールラリーを実施した。結果、1 人あたり平均 3.4 校を訪問した。

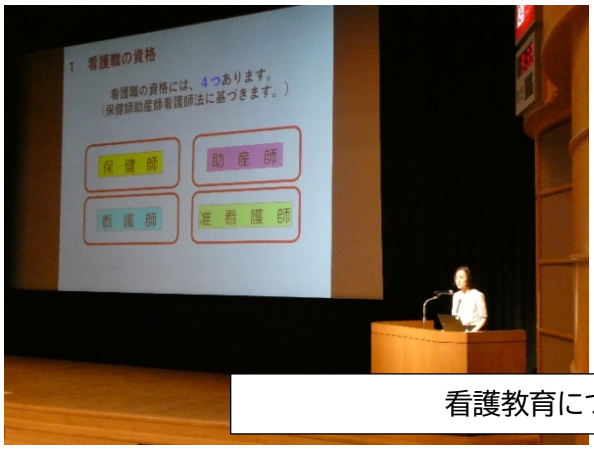
プログラムについての 4 段階評価では、9 割以上が「よく理解できた」「だいたい理解できた」と回答した。また、感想では「様々な学校の魅力が伝わってきて、看護の分野への関心が深まった。」と好評であった。

少子化が進む中、看護人材確保のためには「看護の心普及事業」の継続・強化は必要であると考える。「看護に出会う体験」「仕事を知る機会の提供」「進路選択につながる情報提供」が、魅力ある職業としての看護職のイメージ醸成となるよう働きかけ、進路選択における看護職への志望者の増加を目指していきたい。

【当日の様子】

受付

開会のあいさつ



看護教育についての説明

学校別説明会の様子

記念品交換

個別相談

協会の相談コーナー